

# 第24回 全国キリスト教学校人権教育セミナー

## 「被災と人権」

— 3・11を人権教育の課題から考える —



2013年8月19日（月）～21日（水）

**[会場]** (19日) オプション フィールドワーク  
1日目 (20日) 東北学院大学 土樋キャンパス  
2日目 (21日) 日本基督教団東北教区センターエマオ

◆主催◆

第24回全国キリスト教学校人権教育セミナー実行委員会

全国キリスト教学校人権教育研究協議会

(ホームページ <http://zenkiri.junyx.net>)

### 開催の目的

- ①キリスト教学校および公私立学校で人権教育に関心を持っている教職員、また人権教育に関心を寄せるキリスト者・市民・保護者・学生の出会いの場をもつ。
- ②人権教育の実践に学び合い、分かち合い、建設的な関係を築く。
- ③キリスト教学校での人権教育のあり方を探求し、人権教育の広がりを創る。

## 第24回 全国キリスト教学校人権教育セミナー要項

### 「被災と人権—3・11を人権教育の課題から考える」

主の御名を賛美いたします。

全国キリスト教学校人権教育研究協議会は、キリスト教学校や教会での人権教育を深めるため、夏季の全国セミナーと各地域でのセミナーを開催しております。今年は、24回を数える全国セミナーを宮城県仙台市の東北学院大学と日本基督教団東北教区センターにて開催いたします。

今回のテーマは「被災と人権—3・11を人権教育の課題から考える」です。プログラムとしては、被災地・南三陸と石巻のフィールドワークと、「3・11を人権教育の課題から考える」をテーマに全体会とグループ討論のほか、被災地の学校現場からの報告、また長く原発問題に警鐘を鳴らしてきたキリスト者の講演です。

3・11から2年が経過し、マスコミの報道も徐々に少なくなっています。時おり報道される被災者のニュースは、困難な中であってもひたむきに復興の努力を続ける姿であることが多いようです。ところが、2年半が過ぎても、声を上げにくい人びとがいることを、私たちは忘れてはいけぬのではないのでしょうか。

セミナーの全体会では、被災地に定期的に訪れ、直接被災者の声を聞いている4人の方々の話をお聞きします。語る内容を分かち合いつつ、改めて人権の視点から、学校や教会の現場でどのように伝えていけるのか、私たちの側としてどのような課題があるか、共に考えていきたいと思えます。

#### ●テーマ 「被災と人権—3・11を人権教育の課題から考える」

●日程 2013年8月19日(月)～21日(水)

●会場 前日(19日) <オプション>フィールドワーク

1日目(20日) 東北学院大学 土樋キャンパス (仙台市青葉区土樋1丁目3-1) ⇒5ページに地図

2日目(21日) 日本基督教団東北教区センター エマオ (仙台市青葉区錦町1-13-6) ⇒6ページに地図

#### ●参加費 (事前振込となります)

出張12,000円 / 自費9,000円 / 学生6,000円

(参加費にはセミナー諸費用、昼食代、ニュース購読・協議会運営協力費が含まれます)

☆フィールドワークはオプションで、セミナー参加費に3,800円プラスしてお送りください。

#### ●フィールドワーク(セミナー参加費とは別途3,800円) ※詳しくは4頁の案内をご覧ください。

現場研修「被災地(南三陸町—石巻市)を訪ねる」:8月19日(月)

●申込 7月8日(月)までに、別紙の申込書2枚を下記へ、封書またはFAXでお送りください。  
または、「全国キリスト教学校人権教育研究協議会」のHP <http://zenkiri.junyx.net> から  
申込書をダウンロードして、メールに添付してください。

●申込先 【郵送】〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18-21 NCC教育部内  
「第24回全国セミナー実行委員会」  
【FAX】03-3203-0731 【メール】zenkiri2013@yahoo.co.jp



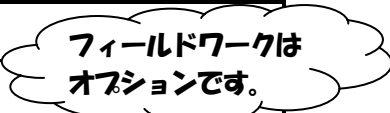
●参加費振込先 郵便振替口座 番号:00170-9-291245 加入者名:第24回全国セミナー実行委員会  
※7月19日(金)までにご送金ください。

※お問い合わせはメールまたはFAXにてお願いいたします。

※参加を申し込まれた方には7月末日までに受付確認書をお送りします。

●宿泊 各自でご予約ください。

## 第24回全国キリスト教学校人権教育セミナー日程

<b>(オフショーン) 8月19日(月)</b>	
8:45~18:30	フィールドワーク 「宮城県(南三陸町/石巻市)の被災地を訪ねる」 (8:45 仙台駅西口に集合⇒9:00 出発⇒18:30 仙台駅到着予定)
	
<b>1日目 8月20日(火) 会場: 東北学院大学土樋(つちとい)キャンパス 8号館</b>	
8:30~	受付開始
9:00~9:30	開会礼拝: 田中弘志さん
9:30~9:50	基調報告&オリエンテーション: 西浦昭英さん
10:00~10:30	報告「被災地の学校では」: 齋藤 光さん
10:30~12:00	全体会(1)「3・11を人権教育の課題から考える」 発題①郭 基 煥さん「外国人被災者の現状と多文化社会の教育課題」 ②前田圭子さん「女性・子どもたちの支援に関わって」 ③内田有美さん「被災とジェンダー/セクシュアルマイノリティの支援課題」 ④杉山裕信さん「障がい者から見た震災とその被害」
12:00~12:30	出会いと交流
12:30~13:30	昼食(お弁当とお茶を用意します)
13:30~15:30	グループでのわかちあい
16:00~18:00	全体会(2)「これからどうする? それぞれの場で」
18:30~20:00	(自由参加の懇親会、あるいはミニコンサートを予定しています)
<b>2日目 8月21日(水) 会場: エマオ</b>	
8:30~	受付
9:00~9:10	エマオの活動紹介: 佐藤真史さん
9:10~9:40	朝の祈り: 李善姫さん「東北の移住女性を覚えて」
9:45~11:00	講演: 内藤新吾さん「原発問題を聖書の視点から考える」
11:10~12:00	派遣礼拝: 関田寛雄さん
12:00~13:00	昼食(お弁当とお茶を用意します)
13:00~13:45	「全国キリスト教学校人権教育研究協議会」総会
14:00	終了

●主催 全国キリスト教学校人権教育研究協議会/第24回全国キリスト教学校人権教育セミナー実行委員会

●後援 カトリック中央協議会学校教育委員会/キリスト教学校教育同盟/キリスト教保育連盟/  
全国在日外国人教育研究協議会/日本カトリック学校連合会/日本キリスト教協議会教育部

●賛同 外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会/日本カトリック正義と平和協議会/カトリック部落差別人権委員会/在日韓国人問題研究所/在日大韓基督教会/日本キリスト教協議会在日外国人の人権委員会/日本キリスト教協議会部落差別問題委員会/日本基督教団在日韓国・朝鮮人連帯特設委員会/日本キリスト教団部落解放センター/日本キリスト教婦人矯風会/日本聖公会人権担当/日本バプテスト同盟/日本バプテスト連盟在日・日韓連帯特別委員会/日本バプテスト連盟部落問題特別委員会/日本YWCA/部落問題に取り組むキリスト教連帯会議

## 《プログラムの内容》

～8月20日（火）～

【開会礼拝】 田中弘志さん(前女子学院院長／日本基督教団仙台東一番丁教会員)

【基調報告&オリエンテーション】 西浦昭英さん(聖学院高等学校教諭)

【報告】「被災地の学校では」 齋藤 光さん(宮城県東松島市立野蒜小学校教諭／保守バプテスト同盟 いしのみなと教会員)

地震と津波を経験した子どもたちの現在の様子について話をお聞きます。齋藤さんは、震災により学区外のプレハブの仮設校舎で教鞭をとられています。震災から2年が過ぎましたが、被災地ではフラッシュバックなどの心的なストレスが現れている子どもがいます。そうした問題について、学校としてどのように取り組んでいるのか、また、学習環境として課題が多い子どもたちの様子についても触れていただきます。

### ◇全体会(1)◇「3・11を人権教育の課題から考える」

4人の発題者から震災後の課題について、人権教育の視点から報告していただきます。

#### ①郭基煥さん(カク・キファン)「外国人被災者の現状と多文化社会の教育課題」

在日韓国人三世の社会学者で、東北学院大学経済学部教授、東北学院大学ボランティアステーション副所長。また、外キ協・NPO笑顔と共に、「外国人被災者支援プロジェクト」運営委員として、石巻市と気仙沼市の外国人被災者の実態調査と支援活動を担う。著書：「災害ユートピアと外国人」（『世界』2013年2月号）ほか多数。

#### ②前田圭子さん(前日本YWCA被災者支援担当幹事)「女性・子どもたちの支援に関わって」

3・11直後から被災地である仙台、福島を拠点に支援活動中。1995年の阪神・淡路大震災時にも支援活動にたずさわりました。今回は、特に女性・子どもたちが置かれた状況や、緊急性の高いものから中長期支援に伴う諸問題をもとに発題します。

#### ③内田有美さん(性と人権ネットワークESTO会員)「被災とジェンダー／セクシュアルマイノリティの支援課題」

大学在学中から「性同一性しょうがい者と非当事者の共生」をテーマに研究および支援活動を行なっています。3・11以降、当事者が「いない」ことにされている事実から、被災とセクシュアルマイノリティについての調査を行ない、その報告と共に、緊急時に見落とされがちな視点を今後に生かすための課題を提起します。

#### ④杉山裕信さん(条例の会仙台代表、CILたすけっと副代表)「障がい者から見た震災とその被害」

1993年に障がい者が障がい者の自立支援を行なう「自立生活センター」の存在を知り、仙台でも自立生活センターを作ろうと決意し、1995年1月に「CILたすけっと」を発足させました。CILたすけっとの活動内容は、福祉情報等の提供と権利擁護活動を基本として、ピア・カウンセリング、自立生活プログラム、介助者派遣サービスのような障がい者の自立をサポートする事業や行政交渉、まちづくり、広い意味での障がい者権利の確立または権利運動といわれるようなものなど、多岐にわたります。

### ◇グループでのわかちあい◇

人権教育の課題について4つのグループに分かれて、わかちあいをします。4人の発題者に入ってもらい、午前中の報告の補足説明や質疑応答などを行ないます。その後、さらに小グループに分けて、各々の感想や将来の展望、これからの自分の教育現場でどう活かしていくかを話し合います。

- ①第1グループ:郭基煥さんを囲んで
- ②第2グループ:前田圭子さんを囲んで
- ③第3グループ:内田有美さんを囲んで
- ④第4グループ:杉山裕信さんを囲んで

### ◇全体会(2)◇「これからどうする？ それぞれの場で」

人権の視点から、これから学校や教会の現場でどのように伝えていくのか、各グループから提案していただき、全体で討論をします。



～8月21日（水）～

**【エマオの活動紹介】** 佐藤真史さん（日本基督教団被災者支援センター・エマオ教団派遣専従者／いづみ愛泉教会副牧師）

**【朝の祈り】** 「東北の移住女性を覚えて」 李善姫さん（イ・ソンヒ／仙台白百合女子学院非常勤講師）

韓国から日本に留学して19年、東北大学東北アジア研究センター専門研究員（文化人類学）。また「外国人被災者支援プロジェクト」運営委員として東北の移住女性の実態調査と支援活動を担う。著書：『多文化ファミリー』における震災経験と新たな課題（『東日本大震災と外国人移住者たち』）ほか。カトリック元寺小路教会信徒。

**【講演】** 「原発問題を聖書の視点から考える」 内藤新吾さん（日本福音ルーテル稔台教会牧師）

1961年生まれ。現在、千葉県松戸市の稔台教会牧師、「原子力行政を問い直す宗教者の会」事務局。牧師になった直後、名古屋で被曝労働を繰り返した野宿の日雇い労働者との出会いが原発問題と関わるきっかけとなりました。その後、静岡県の浜岡原発近くの教会に赴任し、「浜岡原発を考える静岡ネットワーク」役員を経験しました。著書『危険でも動かす原発』（自費出版）、『原発とキリスト教』（共著／新教出版社）など。Youtubeで検索すると、浜岡原発の紹介や講演などで映像を見ることができます。

**【派遣礼拝】** 関田寛雄さん（日本キリスト教団神奈川教区巡回教師・青山学院大学名誉教授）

フィールドワークはオプションです。

フィールドワーク（オプション）

## 「宮城県（南三陸町/石巻市）の被災地を訪ねる」

◇震災から2年余り、被災地では瓦礫が撤去され、道路がほぼ復旧したものの、復興計画が定まらないまま、被災者にとっては時間だけが経過しています。

◇2011年3月11日、災害救助法が適用された市町村には7万5千人の外国人が暮らしていました。とくに岩手・宮城・福島県の外国人の多くが、日本人と結婚した中国・韓国・フィリピンからの移住女性です。

◇朝9時、貸切バスで仙台駅前を出発して、南三陸町（旧防災センター跡）―石巻市（大川小学校、仮設住宅）などの被災地をまわります。被災地の現実を感じとり、外国人被災者の思いに耳を傾けてください。

\*18時30分ころ仙台帰着の予定ですが、天候や道路の渋滞などで大幅に遅れることもあります。

◇集 合：8月19日（月）8時45分、仙台駅西口のタクシー乗り場そば

◇参加費：3,800円（昼食込み） \*セミナー参加費にプラスして送金してください

◇募集人員：45人（貸切バスのため先着順）

◇案 内：千葉義信さん（NPO法人笑顔のお手伝い／外国人被災者支援センター）  
佐藤信行さん（RAIK／外国人被災者支援センター）



### <参考情報>

- ・日本キリスト教団東北教区被災者支援センター・仙台エマオでは、ボランティアを募集しています（別紙チラシ参照）。
- ・セミナーの前後の日に、ボランティアをしたい方は、エマオのHPを見て各自で申し込みをお願いします。

## 会場のご案内

前日 フィールドワーク

集合場所

JR 仙台駅西口

タクシー乗り場 (1階)

地図の真ん中あたりの

エスカレータ付近

集合時間

8月19日(月) 8時45分



## 1日目：東北学院大学 土樋 (つちとい) キャンパス 8号館

〒980-8511 仙台市青葉区土樋1丁目3-1

- JR「仙台駅」から徒歩20分 (約1,800m)
- 地下鉄仙台駅より富沢駅行乗車、「五橋駅」または「愛宕橋駅」下車徒歩5分
- 仙台駅前より長町方面バスにて「仙台市立病院」前で下車徒歩5分

8月20日(火)

8時30分 受付開始



## 2日目：日本基督教団東北教区センター エマオ

〒980-0012 仙台市青葉区錦町 1-13-6

徒歩 JR仙台駅より 徒歩15分(約1,000m)

仙台地下鉄 勾当台公園(こうとうだいこうえん) 駅より 徒歩10分(約700m)

仙台駅からタクシーの場合

錦町(にしきちょう)の婦人会館に向かってもらう。

婦人会館の前まで来たら、その先に見える点滅信号を右折(東へ曲がる)。

80mほど進むと左手がエマオ。(次の交差点まで行かない)

\* 駐車場はありません

8月21日(水)

8時30分

受付開始



仙台駅～エマオ

周辺拡大図